

令和3年度 ワーク・ライフ・バランスキャッチフレーズを決定しました

兵庫県では、11月を『ワーク・ライフ・バランス推進月間』としています。

その取組の一環として、コロナ禍の中、テレワークなど新しいワークスタイルを促進するためのキャッチフレーズを募集したところ、1,803作品（一般461作品、中高生1,342作品）の応募があり、審査の結果、次のとおり受賞作品を決定しました。

受賞作品は、今後、ひょうご仕事と生活センターの情報誌や、啓発用カレンダー等に掲載するなど、ワーク・ライフ・バランスの普及促進に活用していきます。

1 受賞作品進之介

受賞名	氏名等（敬称略）	キャッチフレーズ
グランプリ （兵庫県雇用対策三者会議賞）	かじかわ しんのすけ 梶川 進之介 （明石市） ※一般	今までと違う景色で、ひと仕事 （作者コメント） 場所を選ばない仕事の形態だから。 今までとは違う状況や働き方でも、それを楽しみ、プラスにしていけたら良いと思う。
準グランプリ （兵庫労働局長賞・働き方改革賞）	つしま そうた 津島 颯太 （たつの市） ※高校生	仕事のやり方十人十色 認めて伸ばす多様性 （作者コメント） 仕事のやり方は一人一人違って、それを認めてあげ、さらに伸ばそうとしてあげる心を持つとうという考え。
佳作 （ひょうご仕事と生活センター長賞）	たけや あきひろ 竹谷 昭宏 （神戸市） ※一般	お洒落なまちと豊かな自然！ テレワークこそ兵庫から！ （作者コメント） 兵庫の特徴は都市と農村の近接と多様性。自然の中でのサテライトオフィスでワーケーションなどは兵庫でこそ実現できる。
	おだ しょうご 小田 祥伍 （姫路市） ※高校生	テレワーク 画面に映る 子供の笑顔 （作者コメント） テレワークで忙しい中、ふとパソコンの画面を見ると子供の笑顔が映っている。それを見て家での生活も大切に大事にしようと思う。という作品。

2 表彰式

令和3年11月18日（木）に兵庫県公館で開催する「ワーク・ライフ・バランスフェスタ」において実施します。

【参考】募集状況

- ・応募資格 兵庫県在住、在勤、在学の方
- ・募集期間 令和3年5月17日～令和3年7月30日
- ・募集テーマ 「テレワークなど新しいワークスタイルを促進するキャッチフレーズ」
- ・応募数 1,803作品（一般461作品、中高生1,342作品） ※1人3作品まで
- ・主催 連合兵庫、兵庫県経営者協会、兵庫県、兵庫労働局、（公財）兵庫県勤労福祉協会ひょうご仕事と生活センター